

# 自転車利用に関する近況

都民安全推進本部総合推進部  
交通安全課

# 自転車の利用状況

- 自転車保有台数は2018年時点で約820万台と、都道府県の中で最も多く、2012～2018年では、若干減少している。
- 車両種類はシティサイクルがほとんどで、電動アシストもかなり多い。

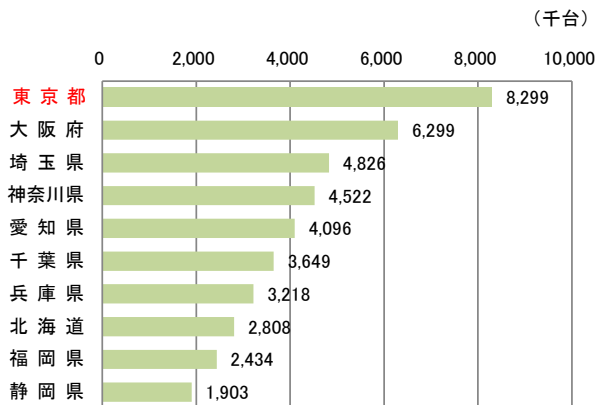


図 2012年時点自転車保有台数 (上位10都道府県)

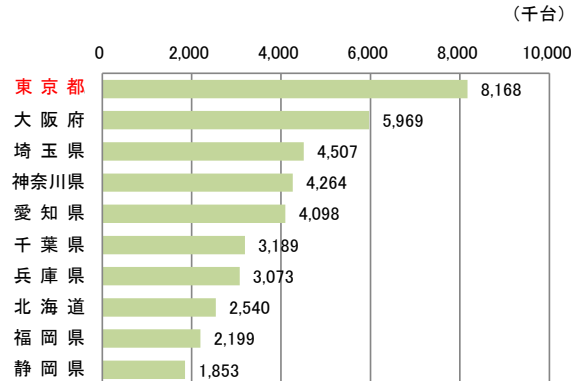
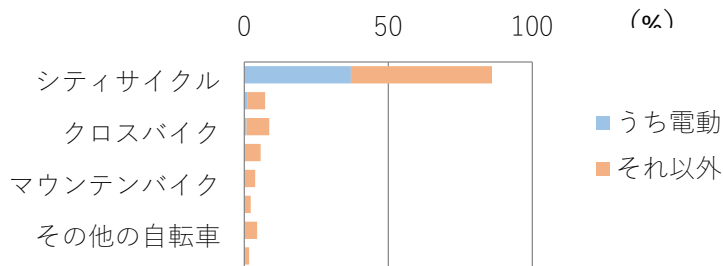


図 2018年時点自転車保有台数 (上位10都道府県)

出典：H30年度 自転車保有実態に関する調査（一般財団法人 自転車産業振興協会）より作成



N=1.0

出典：アンケート調査（都市整備局調、H30.10）

# 東京都内の自転車通勤の状況

- 東京都においても、働き方の「新しい日常」として、自転車通勤の促進が始まっている。

## 【大手企業の自転車通勤の許認可】

2月	146社中38社	(26%)
4月	127社中59社	(46%)
5月	152社中97社	(64%)

出典：東京のIT企業「ワークスヒューマンインテリジェンス」の取引先ヒアリング結果

## 自転車通勤の促進について ～働き方の「新しい日常」～ **働き方改革系**

新型コロナウイルス感染症対策のため、ソーシャルディスタンスの確保や「3つの密」を避けた通勤手段として、テレワークや時差出勤に加え、自転車通勤も「新しい日常」における働き方の選択肢となっています。

5月22日より「**新型コロナウイルス感染症を乗り越えるためのロードマップ**」を通じて、自転車通勤の支援を行っております。詳しくは下記制度の各リンク先をご確認ください。

### ◆東京都の自転車通勤支援◆

#### ① **東京都中小企業制度融資**

東京都と東京信用保証協会と指定金融機関の三者協調のうえに成り立っている融資制度で、働き方改革や職場環境整備等に取り組む都内の中小企業者が金融機関から融資を受ける際に活用できます。

#### ② **東京都スポーツ推進企業認定制度**

従業員のスポーツ活動の促進に向けて優れた取組やスポーツ分野における支援を実施している企業等を「東京都スポーツ推進企業」として認定しています。自転車通勤を推奨している企業についても認定しています。

出典：東京都スムーズBizHP (2020.7.2)

# ウィズコロナ時代の新しい日常

- 一方、新たに自転車を購入して通勤等をはじめの人や、自転車シェアリングを利用し始める人が増加することで、自転車事故の増加が懸念される。

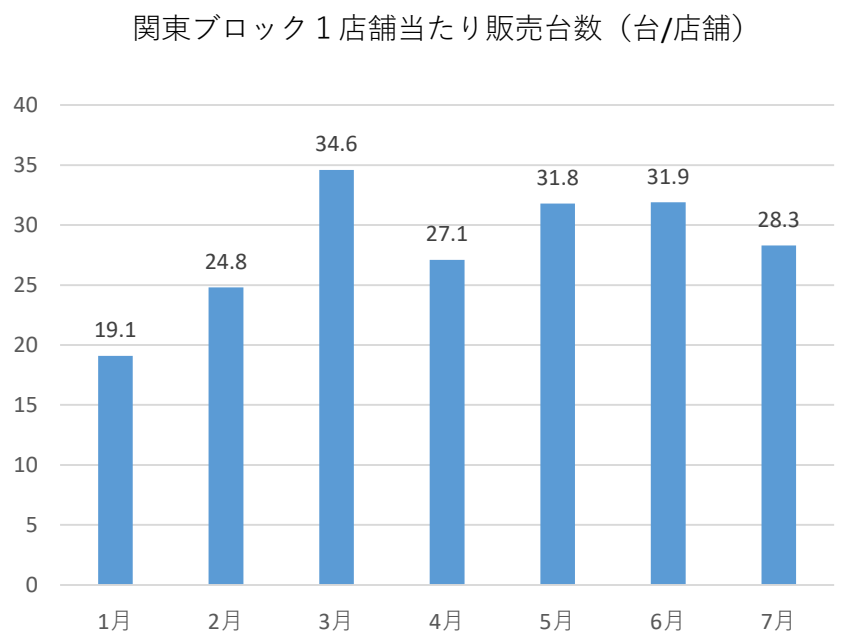


図 自転車販売台数の推移 (関東ブロック)

出典：自転車国内販売動向調査 (自転車産業振興協会)

**ウーバー配達員、都内で事故相次ぐ 自転車で首都高走行も一コロナ自粛、宅配増加で**

2020年05月26日13時26分

フィードバックをご提供いただき、ありがとうございました。 [Ad choices ▶](#)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛で宅配の需要が高まる中、飲食宅配代行サービス「ウーバーイーツ」の配達員による交通事故が東京都内で相次いでいる。首都高速道路を自転車で走行する事案も起きており、警視庁は安全指導を強化する方針だ。

**業務拠点なく指導難航 ウーバー配達員事故—警視庁**

ウーバーイーツ加盟の飲食店は国内で近年増加しており、3月末時点で2万店舗以上。新型コロナウイルスの影響で売り上げが減少した店舗を支援するため、神戸市のようにウーバーイーツと連携を始めた自治体もある。

一方、都内では配達員の事故や交通違反も目立つ。警視庁によると、杉並区で4月6日、自転車で配達していた20代の男子大学生が軽乗用車とぶつかり死亡。今月15日にも中央区で同様の事故があり、男性配達員が顔の骨を折るなどした。18日には板橋区で配達中の自転車と歩行者の50代女性が出合い頭に衝突する事故も発生した。

12日には男性配達員が自転車で首都高に進入。「Uber Eats」のロゴが入ったバッグを背負い、自動車と並行して走る姿がツイッターに投稿された。警視庁が男性を特定し、任意で事情を聴いた。

ウーバーイーツの運営会社は「引き続き交通安全の啓発活動の強化に取り組んでいく」とコメントしている。

図 ウーバー配達員の自転車事故

出典：JIJI.COM (時事通信社、2020.5.26)